



浅口市立鴨方西小学校

かもしNOW

(文責 校長：三浦 嘉子)

R 6 . 2 . 5



暦の上では、節分が明けた2月4日から春だと言いますが、まだまだ厳しい寒さが続いています。晴れた日には、寒さに負けず、8の字跳びで元気に身体を動かして、冬を乗り越えたいと思います。

2月5日号では、6年生の伝統文化体験の様子、今週から始まる給食感謝週間の様子、地域の方にお配りするひまわりの種の準備状況をご紹介します。

【伝統文化体験(2月2日)】



【華 道】

6年生は、「琴」「陶芸」「華道」「茶道」「剣道」「俳句」「日本舞踊」の7つに分かれて、それぞれ自分が興味のある伝統文化を体験しました。

子どもたちは、講師の先生の話真剣に聞いて、それぞれの課題に取り組みました。俳句では、五七五という文字数の制約の中で具体的に表現するのが大事なことや、茶道ではマナーだけでなく、心を落ち着かせ季節感を大事にすること等を学びました。「琴」「日本舞踊」がどちらも「さくらさくら」の曲を用いていた事から、次年度は、児童の琴の演奏で、他の児童が日舞で舞うのも素晴らしいのではと講師の先生同士の話も弾みました。



【琴 (さくらさくら演奏)】



【茶 道】



【日本舞踊】



【剣 道】



【陶 芸】



【俳 句】

お越し頂いた先生方、お忙しい中、ご協力頂き誠に有り難うございました。日本には世界に誇る多くの伝統文化があることを、子どもたちは体験活動を通じて再認識することが出来ました。

【給食感謝週間(2月5日開始)】

今週から一週間、本校では「給食ができるまでに携わる人に感謝しながら、食についての正しい理解と食習慣を身につける」期間として「給食感謝週間」を設定しています。

初日の今日は昼の放送で、各学級毎に、給食のめあてを発表しました。ここでは2年生と4年生のめあてをご紹介します。



[2年生の給食のめあて]



[4年生の給食のめあて]

2年生：かんしゃの気持ちをこめて、自分のおぼんにある分をのこさず食べよう！

4年生：作っている人に感謝しながら味わって完食しよう。

本校の給食担当の先生からは、作っている人への感謝の気持ちとともに、「食＝命をいただくこと。食料を無駄にしてはいけない。」との話がありました。給食感謝週間を通じて、再確認したいと思います。

【ひまわりの種の準備状況(2月2日)】

本校では、わくわく花畑で育ったひまわりの種を採取し、手書きの絵入りの袋につめて、毎年地域の方にお配りしています。浅口市をひまわりでいっぱいになりたいとの地域の方の思い・児童の思いから、毎年継続している活動です。今年は、700袋を目標に作成しています。

2日のボランティアタイムには、縦割り班のグループに分かれて、6年生がリードして、1～5年生が協力し合って、袋作り&種入れの作業を実施しました。



地域の皆様、今年も、鴨西のひまわりの種をお配りします。楽しみにお待ちしております。